今回、当財団の直近３ケ月間の活動を纏めた報告書『JAEF REPORT No.271』についてお知らせします。
本号での報告事項は以下の通りです。

◆令和８年度 自動車教育用教材の提供対象校・内容を決定
・８/4 開催の審査委員会で、提供対象地域別の過去最多となる 125 の高等学校へ自動車教育用教材を提供することを決定しました。
　提供校数については、代表校長への個別アプローチなど告知強化に努め、4 年連続で提供対象地域別の過去最多を更新しました。
　教材別では、「分解組立用エンジン」が最多で、それに次いだのが令和 6 年度に設定した「EV ミニカート・キット」でした。

◆「自動車教材有効活用表彰制度」表彰校を決定
・財団では、ものづくり人財の育成・確保のため、小・中学生を対象とした「高校紹介」「出前授業」等にて、財団が提供した自動車教材を有効活用している高等学校を表彰する制度を創設しました。
　令和８年度は、エントリーいただいた４校全てに『未来のくるまファン育成賞』を授与することを決定しました。
　なお、受賞校および各校における教材の活用内容については、以下財団 HP にて公開しています。
　https://jaef.or.jp/effective-material-award/

◆令和８年度 JAEF 研修会を開催
・全国の高等学校の先生方を対象とした研修会を計 2 回開催。
　第 1 回は「日本自動車研究所」にて自動車先進技術の評価試験設備を見学していただき、第 2 回は「富士スピードウェイ」にて、モータースポーツとモビリティの魅力に対する理解を深めていただきました。
　参加された先生方からは、モビリティや自動車産業の魅力を確認した旨の声を多数いただきました。

◆26 都道府県の研修会(50 件)に講師を派遣
・今年度 7～9 月は 26 都道府県 50 件の研修会に専門講師を派遣し、合計 9,900 名に受講いただきました。今年度の開催件数は、9 月までの累計で 286 件になりました。
・受講生徒を対象としたアンケートでは、7～9 月、計 16 校 1,600 名の回答を得て、顕著な成果を確認できました。
　ex.）「受講後の交通安全に対する意識」について、「高まった」の回答が 83%

※『JAEF REPORT No.271』の内容詳細は、以下 URL よりご覧ください。
　https://jaef.or.jp/wp-content/uploads/2026/10/JAEF-REPORT-No.271.pdf

---

日本自動車教育振興財団 メルマガ事務局

【読者の皆さまへ】
私どもは、先生方や高校生の皆さんにより有益なご支援を提供してまいりたいと考えております。
つきましては、当財団の事業やご支援メニューについて、ご意見やご要望等をお寄せください（以下のいずれかの方法にてお願いします）。
　1.　当メルマガに返信

2. SNS でのコメント、返信
   ツイッター　https://twitter.com/jidousyakyouiku
   フェイスブック　https://www.facebook.com/jaef2019/